

ホームページへの掲載		
済	7月10日	掲載予定

岐 阜 県 立 可 児 工 業 高 等 学 校

学 校 長 山 田 豊 和

学 校 住 所 可 児 市 中 恵 土 2358 の 1 電 話 0574-63-1185

1 会議の名称 可児工業高等学校学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成

委 員	千賀 昂	可児市中恵土自治会連合会長
	小栗 公子	(有)小栗モータース取締役
	相生 順子	可児市青少年育成アドバイザー
	渡辺 佳照	シンクレイヤ株式会社常務取締役
	水野 正司	可児市下恵土自治会連合会長
		(委員名は五十音順)
学 校 側	山田 豊和	校長
	高木 良昭	教頭
	福井 学	事務長
	兼松 竹司	教諭 (生徒指導部長)
	青山 政美	教諭 (工業部長)

3 会議の目的 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、本校教育の一層の改善・充実を目指す。

4 会議の開催 平成22年6月25日(金) 13:30~15:10 可児工業高等学校校長室
委員5人と学校側5人が出席
会の内容

- ・委嘱書交付
- ・授業参観と施設見学
- ・出席者自己紹介
- ・県立学校の学校評議員について
- ・学校の現況と課題
- ・授業参観の感想と本校への意見や提言
- ・その他

5 会議の概要

(1) 本校の現況と課題

学校より以下のように説明を行った。

①平成22年度の可児工業高等学校の学校運営について(学校長)

マニフェストの説明

②教務部の方針と重点

- ③生徒指導部の方針と重点
- ④進路指導部の方針と重点及び平成21年度の進路概要
- ⑤工業部の方針と重点

(2) 授業参観及び施設見学の感想や意見

- 意見 1 工業高校の授業は初めて参観した。少人数制でわかりやすい授業だと感じた。専門分野の技術が高く、いろいろな競技会に出るなど、生徒たちが一生懸命だと感じた。説明は去年の生徒の方が上手だった。
- 意見 2 教室での授業は少人数教育がされていて、自分たちの時代と比べて恵まれていると感じた。
- 回答 全ての教科で少人数授業は行っていないが、今日、ご覧いただいた英語などは少人数の効果があると思われる。生徒がより興味を持って授業が受けられるように教科の選択を取り入れているので、少人数での授業も多い。また、実習では安全のためもあり、おおむね生徒10人に教員1人の体制をとっている。
- 意見 3 少人数でものづくりをしている。子供達が真剣に取り組んでいた。生徒・職員の相互に真剣さを感じた。信頼関係があるように思えた。
- 回答 70%が就職する本校にとって、社会人としての常識を身につけさせることは重要だと考えている。実習前の集会などで指導をしたり、職員室への入室マナーなど日頃から指導に心がけている。しかし、まだ十分でないので、これからも指導を強めていきたい。

(3) 本校への意見や提言

- 意見 4 以前はけっこう横着な生徒が見られたが、最近はあまり見かけなくなった。
- 回答 最近は大きな問題行動は少ない、今年度についても現在のところ軽微な問題行動があるだけで、学校全体としては落ち着いていると言える。
- 意見 5 心配なのは自転車通学の生徒の交通マナーである。狭い道での飛び出しや傘さし運転、携帯電話を見ながらの走行など、大きな事故に結びつくような要素がある。この学校だけに限らないが、指導をお願いしたい。
- 意見 6 毎朝、先生が校門で登校してくる生徒を指導している姿を見かける。私の地域ではそれほど交通マナーで気になることは少ない。学校に近く、先生方の目があるのかもしれない。
- 回答 本校の周りは通行量が多い道路が多く、交通事故については心配している。事故に結びつきやすい傘さしや携帯電話を見ながらの自転車運転については、日頃から注意を促していて、雨天時のかっぱ着用は低学年ではかなり習慣化されてきている。しかし、3年生には十分に徹底しているとは言えないので、今後も粘り強く指導をしていきたい。

意見 7 地域の行事に可児工生が多く参加されることを希望する。この地域では各自治会での自主的な催しが盛んであり、そんなイベントに高校生が参加してくれるとありがたい。

回答 以前から産業フェア、環境フェスタあるいは公民館祭りにはできる限り参加するようにしている。先週も御嵩の「ささゆりまつり」にミニSLが参加し、好評であった。全ての要望にお応えできないかも知れないが、地域の催しには積極的に参加したい。また、本校応用技術部では数年前から可児川の水質チェックを行っている。蓄積されたデータも必要があれば提供できる。

意見 8 不審者などの情報はどのように把握しているか。昨年度、広見地区に多発した。巡回で1人は逮捕されたということだ。今年度も7月4日の啓発運動に、MSリーダーズの参加をお願いしたい。

回答 地区生徒指導の連絡網で情報はすぐに届いている。MSリーダーズの参加については今年も予定している。

(4) その他

意見 9 マイコンカーラリーの優勝など、可児工業の活躍を注目している。がんばってもらいたい。このことで、生徒が学校に対して誇りを持つようになる。

意見 10 可児工生はみんなが明るく挨拶してくれる。このことは大事なことで続けてほしい。

意見 11 可児工生のイメージは、まじめ、誠実、穏健である。この面では安心感があるが、競争心や向上心に弱いところがあるような気がする。常に人より一歩先に出る気概と、高い志をもつ人間を育成していただきたい。

6 会議のまとめ

① 今年度の評議員は5名中3人が交代した。中には工業高校を見るのは初めての方もいて、施設見学と授業参観では、本校の機械設備や授業内容に興味を示され、又、生徒の実習態度に感動された様子うかがえた。昨年の反省から、教室での授業も今年は参観していただいた。

② 企業関係の方からは企業人としての厳しい目で施設や実習室の整備状況をご覧いただき、厳しくも適切なアドバイスを受けることができた。工業高校ではこのような企業の立場からの意見は大変に貴重である。

③ 地域から期待されていて、温かい目で見られていると感じた。地域に支えられる学校として、いろいろなイベントに参加して本校や本校の生徒の「良さ」を今アピールして、より良い学校づくりに努めたい。